

泌尿器科の大槻英男医師が 学会の奨励賞を受賞しました

この度、泌尿器科部長の大槻英男医師が、第65回日本化学療法学会学術集会（京王プラザホテル、平成29年4月6日）において、優れた学術業績に対する **学術奨励賞** を受賞し表彰されました。

大槻医師は、前任の部長である上原慎也医師（現・川崎医科大学総合医療センター准教授）と共に、当院の膀胱炎患者の原因菌と抗菌薬の感受性に関する論文を発表しており、この内容が非常に優れていると認められ学会学術奨励賞に選出されました。当院での感染症に対する取り組み・分析が評価されたわけです。

我孫子東邦病院では、外来・入院を問わず泌尿器感染症の診療に力を入れております。また、手術患者さんに関しても手術の方法だけでなく抗菌薬の適切な使用に関しても毎週カンファレンスを開き、皆で相談してベストな医療を提供できるよう努力しております。



中央が大槻医師、
右端が学会会長の東京慈恵会医科大学
葛飾医療センターの清田浩教授

↑中央左が大槻医師、
右が学会会長の東京慈恵会医科
大学葛飾医療センターの清田浩教授

